

7月17日 総務環境委員会（さはしあこ副委員長・柴田民雄議員）

## 請願5件・陳情1件を審査

# 「戦争法案に反対を」の請願など2件が不採択

7月17日の総務環境委員会では、6月議会で受理された請願5件・陳情1件の審査を行いました。請願5件はいずれも日本共産党が紹介議員となった請願です。

「集团的自衛権に基づく、自衛隊の海外における武力行使を可能とする関連法制の改定を行わないことを求める意見書提出に関する請願」と「辺野古新基地建設をやめることを求める意見書提出に関する請願」は不採択になりました。「地方自治の堅持を求める意見書提出に関する請願」など3件は「保留（継続審査）」に、「マイナンバー法について国民に説明を求める意見書提出に関する陳情」は「ききおく」となりました。

### 戦争法案の審議は不十分といいつつ 請願は「不採択」の減・民・公

戦争法案に反対する意見書を求める請願について、柴田民雄議員が、「そもそも憲法違反の法案。岩倉市やさいたま市など多くの議会が意見書を上げている」などと指摘し、安倍政権の強行採決に対してマスコミの世論調査はいずれも「戦争法案には反対」という結果が出ていることを示し、請願採択を求めました。しかし、減税日本は自衛隊の海外における武力行使という個別事項には賛同できない、民主党は慎重審査すべきとは思いますが、請願は「法案の改定をするな」というので一致できない、公明党は、請願には事実誤認が多い、



総務環境委員会での戦争法案の請願採決の様子（NHKテレビより）

それ一つ見ても国民の議論が不十分だということがよくわかるが、事実義認なので採択できないといういい、自民党に同調し「不採択」としてしまいました。

### 地方自治を尊重することはいいが、 辺野古については「不採択」と減税

地方自治の堅持を求める意見書提出に関する請願3件と辺野古新基地建設をやめることを求める意見書提出に関する請願と一緒に審議され、柴田議員が原発の高レベル廃棄物処分場設置を例に国と市の対応をただし、「住民の意思を無視して強引に国策を進める暴挙にくぎを刺すためにも請願採択を」と求めました。減税日本などは、地方自治の尊重には賛意を示しましたが、辺野古のことは反対、との態度を示しました。

#### 総務環境委員会での請願審査の結果（2015年7月19日）

請願・陳情名（請願・陳情者）	請願項目	各会派の態度						結果
		共	自	民	公	減	維	
集团的自衛権に基づく、自衛隊の海外における武力行使を可能とする関連法制の改定を行わないことを求める意見書提出に関する請願（天白区住民）	集团的自衛権に基づく、自衛隊の海外における武力行使を可能とする関連法制の改定を行わない意見書を	○	●	●	●	●	-	不採択
地方自治の堅持を求める意見書提出に関する請願（千種区住民）	住民自治及び団体自治を2本の柱とする地方自治の堅持を	慎重な議論が必要						保留
地方自治の尊重を求める意見書提出に関する請願（新婦人名東支部）	地方自治を尊重するこ							
自治体及び住民意思の尊重を求める意見書提出に関する請願（子どもを守り隊避難者グループ）	自治体及び住民意思の尊重を							
辺野古新基地建設をやめることを求める意見書提出に関する請願（守山区住民）	辺野古新基地建設をやめるように意見書を	○	●	●	●	●	-	不採択
マイナンバー法について国民に説明を求める意見書提出に関する陳情（守山区住民）	行政手続における、特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律について、国民に説明を	ききおく						